



# 棚倉町商工会 創立50周年記念式典

◆とき 平成22年10月22日(金)

◆ところ 棚倉町南町 新富家

棚倉町商工会

# 式典次第

司会者  
運営委員長 大 梶 守

1. 開式のことば 副実行委員長 高橋直哉
2. あいさつ 実行委員長 金澤寛二
3. 表彰状贈呈
4. 受賞者代表謝辞 吉田勝英様
5. 来賓祝辞 柵倉町長 藤田幸治様  
福島県県南地方振興局長 鈴木登三雄様  
福島県議会議員 立原龍一様  
柵倉町議会議長 佐藤忠政様  
福島県商工会連合会会長 田子正太郎様
6. 記念講演  
講師 柵倉町教育委員会生涯学習課学芸員 藤田直一様  
演題 「柵倉城の歴史」
7. 閉式のことば 副実行委員長 立石誠

## 式典趣旨

棚倉町商工会は、町の振興発展に寄与された棚倉町振興会ならびに近津商工会が昭和35年に商工会法が制定されると同時に両会が発展的に統合し、昭和35年11月26日に新たに棚倉町商工会として設立、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的に地域唯一の経済団体として誕生いたしました。

以来、経営改善普及事業、地域総合振興事業、そして地域商工業者の経済的、社会的地位の向上を図るべき事業に努めるとともに、時代のニーズに対応するため、広域連携による小規模企業への支援機能の強化や、組織運営の効率化などに取り組み、ここに商工会法施行後50年という歴史を辿りました。

さらに昭和37年5月27日に商工会青年部を結成、続いて昭和41年6月21日に婦人部が結成され、地域の実態や小規模事業者の意向、あるいは地域住民の動向に的確に対応し、地区における商工業の総合的な改善発展と、あわせて社会一般の福祉の増進に資するため事業を進めてまいりました。

しかしながら高度成長を築いた経済産業の形態が世界的なグローバル化により大きく変貌するなかで輸出や生産の優位性が大きく崩れ、また円高やデフレ進行に直面するなど、地域経済や中小企業にとって自助努力だけでは克服できない厳しい状況が続いております。

このような情勢にあって山積する諸問題を克服し、新たな経済産業の確立には独自性を発揮した技術・製品・商品・人材を創造し、中小企業の能力が生かされる小回りの利く戦略により新たな事業形態を築くことが求められます。

併せて中小企業の繁栄、高齢化社会の対応、地域社会の活性化を実現していくためには「商工会は行きます、聞きます、提案します、会員満足向上運動」をスローガンに掲げ、現状の課題を把握したうえで、適切な事業活動による支援機能の発揮、職員の資質向上、地域事業者への巡回指導の強化をさらに進めるなど商工会の役割を果たさなければなりません。

本日ここに棚倉町商工会創立50周年の記念すべき年にあたり、商工会事業に尽力された功労者の功績を称えるとともに、会員480有余と青年部、女性部員の総意と総力を結集し、中小企業の健全発展と、棚倉町商工会の一層の充実強化、ならびに地域商工業が直面する課題の早期解消に向け新たに決意を表明するものです。

# 表彰者名簿

■退任役員	退任役員15年	澤田昌彦殿
		吉田勝英殿
		鈴木壯一殿
	退任役員10年	石田哲二殿
		近藤崇殿
		和田功殿
		近内史彦殿
		後藤眞守殿
		須藤眞一殿
		広瀬忍殿
■退任歴代青年部長		湯座一平殿
		藤田智之殿
		鈴木一彦殿
		藤田和彦殿
		松本敏夫殿
■退任歴代女性部長		佐川愛子殿
		宗田理子殿
		吉田美枝子殿
■退職事務局長		山口昂太郎殿
		根本秀男殿
■在職職員	30年以上	松本シヅエ
		須藤和子
		鈴木洋子
	20年以上	市川浩昭



# 50 年 の あゆみ

棚倉町商工会  
1960～2010

## 目 次

1. ご あ い さ つ	棚倉町商工会長 金 澤 寛 二	1
2. 祝 辞	棚 倉 町 長 藤 田 幸 治	2
3. 祝 辞	福島県商工会連合会長 田 子 正太郎	3
4. 会 員 数 の 推 移		4
5. 経営改善普及事業の概要		4
6. 年度別財政の推移		4
7. 年度別一般事業の概要		5
8. 歴代役員一覧表		7
9. 在職職員一覧表		10
10. 記念式典実行委員会		11

# ごあいさつ

棚倉町商工会長  
金澤寛二



棚倉町商工会創立50周年の記念すべき年を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昭和35年商工会法が制定されると同時に、会員相互の利益と地域経済の向上発展を目的に掲げ地域唯一の経済団体として誕生し、戦後の苦難から立ち上がった復興期、英知を結集し経済大国の一員となった高度成長期、生活水準がピークを過ぎ飽和と行き詰まり、さらに資産価値の着膨れ現象が耐え切れずに崩れたバブル崩壊期、そして自由化・国際化・グローバル化が進む市場経済に左右される変動期と、このような経済・産業の変遷のなか、地域経済の安定と発展のため商工会の目的と使命を果たすべき事業に取組み、ここに50年の歴史を刻むことになりました。

この歴史を顧みますと、幾多の苦難を乗り越え、商工会の基礎を築かれた先人役員・会員皆様の献身的なご努力に対し感謝と敬意を表するものです。当地域の商工業を取巻く環境は、産業経済の形態や消費者動向が大きく変化する中で、売上の減少・利益の縮小を余儀なくされ、これらに対応する打開策がなかなか見いだせない厳しい状況が続いております。

さらに中心市街地の空洞化・少子高齢化・後継者不足・過疎化などの社会現象は地域経済の基盤を一層弱め、特に雇用情勢は深刻な問題に発展しております。このようななか地域経済の再生には地域の個性や魅力の創出、独自性の発揮などが求められ、地域の中小企業は変化する消費者ニーズに的確に対応しなければならないと考えます。

特に商店街は地域経済を支え、町並みを形成するうえで欠かせない存在であり、行政と一体となって防犯・防災などを兼ね備えた、公共的な役割機能を果たせる安全安心なまちづくり、そして賑わいのある街並みを後世に残していくことが、我々に課せられた責務であると考えております。

このような経営環境を、目指すべき未来への変動の過程であると捉えれば、厳しい試練の中に新しい発想や創意工夫が生まれ、努力の継続と現況に挑戦する行動が未来を切り開くものと確信いたします。

これからも紆余曲折が予想されますが難局を克服していくため、将来のあるべき姿をしっかりと捉え、商工業者皆様との連携を一層密にいたしまして、地域経済の発展と振興に取り組んでまいり所存でありますので、関係各位の格別なるご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 祝 辞

棚倉町長  
藤 田 幸 治



棚倉町商工会の創立50周年にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

棚倉町商工会は、地域商工業の振興と経営改善事業による小規模事業者の育成を目的とする商工会法に基づき、昭和35年10月に町内商工業者の先覚者の皆様によって創設されました。

以来、50年、我が国経済が成長と後退を繰り返す中で、幾多の困難を克服されながらも堅実に地域経済の振興に取り組まれ、地域経済総合団体として健全なる成長発展を見ながら今日を迎えられました。これはひとえに、歴代会長さんをはじめ役職員、会員各位のご尽力、ご協力の賜物であり、関係者の皆様方に対して深く敬意を表するものであります。

今、棚倉町の人口は、16,000人を割り込み、10年前と比較すると約1,100人程度減少しておりますが、県内市町村の中では減少率が低く、老年人口比率でも県平均を維持している状況にあります。産業部門では、平成19年度の製品出荷額が約990億円、年間商品販売額が約223億円となっており、依然、東白川郡の産業経済の中心地としての役割を担っております。これに伴い棚倉町商工会が、地域経済の振興に果たす役割も大きく、棚倉町のみならず地域経済を牽引していくという使命と責任もまた大いなるものがあると考えております。

このような人口、産業の状況を踏まえれば、当然、棚倉町商工会の役割も多種多様となり、事業の充実はもとより、地域商工業者をはじめ、広く一般町民の方々もその活動に注目し、期待しているところであります。

こうした中、町では中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の整備改善、商業等の活性化を柱とする城跡周辺整備を進めるとともに、まちづくり会社「まち工房たなぐら」の設立に参画するなど、街中再生へ取り組んでまいりました。今後は、町と商工会がより一層連携を密にし、これまでに整備した資源を活用しながら、積極的な商工行政を推進することが肝要でありますので、会長さんをはじめ役職員、会員各位のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今日の我が国経済は、リーマンショックに端を発する世界同時不況や急激な円高など、グローバル経済の中で刻々と変化していく環境に対応しながら、国際協調、内需拡大が求められております。これは地方においても同じことであり、好むと好まざるにかかわらず世界の経済動向に影響されることはいうまでもありませんし、中小企業者がこれらの環境を乗り越えるためには申し上げるまでもなく事業者の自助努力が肝要であります。それには、商工会の適切な指導による経営の近代化、合理化を推し進め、企業の体質改善・強化を図ることが重要なことと考えられます。

この変化の激しい時代に当面し、棚倉町商工会におかれましては、50周年記念を契機にその事業運営に画期的な新機軸を打ち出していただき、活力ある商工会づくりに邁進していただきたいと存じます。

終わりに、棚倉町商工会の限りない発展と皆様方の益々のご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

福島県商工会連合会会長

田 子 正太郎



棚倉町商工会が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

御承知のとおり「商工会法」は地域の商工業の総合的な改善発達を図ることを目的に商工会の組織・事業を定める法律として昭和35年に施行され、商工会は我が国の中小企業対策を担う中心的機関と位置付けられました。その後、商工会は経営改善普及事業を核として日本経済の発展を支える中小企業を支援し、更には地域特性を生かした様々な地域貢献事業を青年部・女性部の企画力、機動力等を生かしながら展開してまいりました。

貴商工会におかれましては、昭和35年11月に創立以来今日まで50年間、会員を始め役職員の皆様方の御努力により、地域商工業者への経営改善普及事業を中心とした事業を積極的に実施するとともに地域社会の発展に多大な成果をあげてこられました。

近年においては、これまでの地域商工業者への経営改善普及事業のみならず、町のシンボルである「棚倉城跡」の広場を活用した、町民参加による時代絵巻の再現を図る「十万石棚倉城まつり」賑わい創出事業や地域住民に心のふれあいの場や安らぎの場を提供するとともに、帰省客に故郷の良さを再認識してもらうための歩行者天国「棚倉夏まつり」の開催、さらには田舎暮らしや自然が体験できる、四季の郷土食を活用した体験型ツーリズム推進事業の実践的なシステムづくりの検討など、各般の取り組みを積極的に展開されてこられました。

これらの事業を通して地域の振興発展に大きく貢献されてきましたことは、まさに歴代役員のリーダーシップと会員皆様の積極的な連携協力のたまものであります。

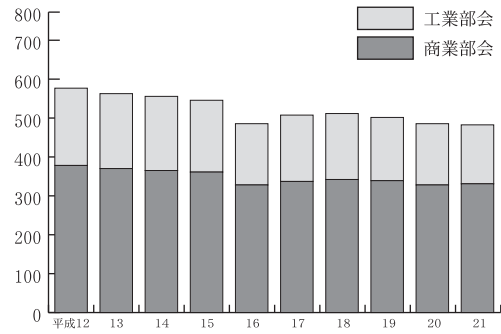
今後とも地域や地域商工業者の期待に応えるべく、役職員が一丸となり、なお一層の御活躍を頂き、貴商工会が今後さらに発展されますよう御祈念し、棚倉町商工会創立50周年にあたってのお祝いの言葉といたします。

## ■最近10年の現況

### ◎会員数の推移

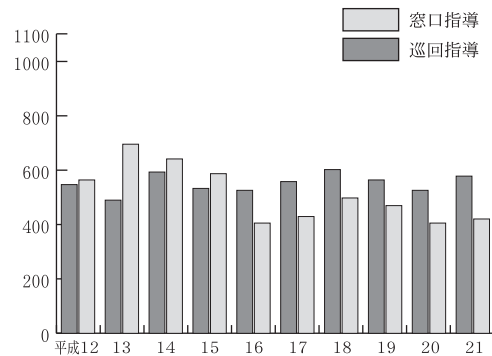
単位:人

年度別	会員数	商業部会	工業部会
平成12年	575	377	198
平成13年	566	369	192
平成14年	562	364	190
平成15年	552	360	184
平成16年	498	327	157
平成17年	517	336	170
平成18年	522	341	169
平成19年	509	338	162
平成20年	498	327	157
平成21年	494	330	151



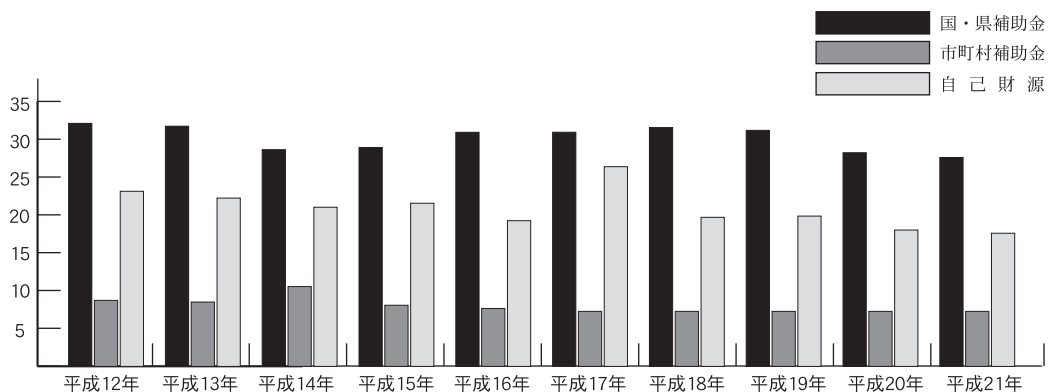
### ◎経営改善普及事業の概況

年度別	巡回	窓口
平成12年	545	562
平成13年	488	693
平成14年	591	639
平成15年	531	585
平成16年	524	404
平成17年	556	428
平成18年	600	496
平成19年	562	468
平成20年	524	404
平成21年	576	419



### ◎年度別財政の推移(収入)

年度	会費	国・県補助金	市町村補助金	その他補助金	手数料	引当金繰入	その他	計	自己財源
平成12年	9,262,500	32,087,000	8,720,000	3,010,000	4,877,380	1,700,000	7,317,418	66,974,298	23,157,298
平成13年	9,168,000	31,710,000	8,500,000	2,034,000	4,891,466	500,000	7,829,613	64,633,079	22,389,079
平成14年	8,890,500	28,612,000	10,540,000	400,000	4,773,480	600,000	6,891,496	60,707,476	21,155,476
平成15年	8,764,500	28,903,000	8,075,000	242,000	4,474,367	3,000,000	5,567,991	59,026,858	21,806,858
平成16年	8,708,250	30,908,000	7,650,000	40,000	4,641,258	0	5,880,562	57,828,070	19,230,070
平成17年	8,549,000	30,914,000	7,267,000	0	5,137,637	6,390,952	6,212,592	64,471,181	26,290,181
平成18年	8,470,500	31,528,000	7,267,000	0	5,017,666	0	6,494,837	58,778,003	19,983,003
平成19年	8,356,000	31,162,000	7,267,000	393,000	4,921,895	1,271,300	5,519,200	58,890,395	20,068,395
平成20年	8,307,000	28,208,000	7,267,000	700,000	4,371,065	0	5,412,280	54,265,345	18,090,345
平成21年	8,094,000	27,582,000	7,267,000	0	4,506,989	650,000	4,694,972	52,794,961	17,945,961



# 年度別一般事業の概要

10.15	昭和35年度(1960)	5.30	第9回通常総会	10.22	設立20周年親善ゴルフ大会
11.14	棚倉町商工会設立総会	6.26	臨時総会	11.13	設立20周年記念式典
1.24	棚倉町商工会設立認可			2.1	郷ひろみ歌謡ショー
	年末年始連合売出し		昭和45年度(1970)	3.16	ガイドブック棚倉町の企業の作成
	こまどり姉妹	4.19	花まつり		
			素人演芸及び剣道大会		昭和56年度(1981)
5.27	昭和36年度(1961)	5.24	第10回通常総会	7.10	来春就職希望者工場見学
8.17~18	第1回通常総会	8.7	花火大会	7.27	金融懇談会
10.18	七夕行事	3.5	設立10周年式典	11.13	地域問題懇談会
3.3	商工会報第1号発行				昭和57年度(1982)
	年末年始連合売出し		昭和46年度(1971)	4.24	大型店業種代表者会議
	三橋美智也	5.18	第11回通常総会	6.24	事務所移転(旧合同庁舎)
		5.24	年末連合売出し	1.20	地域問題啓発活動講演会
5.25	昭和37年度(1962)	9.19	藤 圭子		昭和58年度(1983)
5.27	第2回通常総会		中元売出し	7.30	商工会館建設地鎮祭
7.15	棚倉町商工会青年部結成		ちあきなおみ	10.14	商工会館上棟式
10.3	第1回珠算検定			1.20	新商工会館へ移転
	総代総会		昭和47年度(1972)	2.14	商工会館落成祝賀会
		5.11	第12回通常総会		昭和59年度(1984)
5.20	昭和38年度(1963)	10.2	雇用促進座談会	5.14	大型店対策協議会役員会
8.8	第3回通常総会	12.9	消費者懇談会	11.9	地域問題懇談会
2.22	中元連合売出し			3.27	金融懇談会
	畠山みどり		昭和48年度(1973)		昭和60年度(1985)
	年末年始連合売出し	4.24	新規地元就職者を	4.10	商調協委員勉強会
	橋 幸夫	5.21	励ます会	5.21	第25回通常総会
		2.24	第13回通常総会	6.21	パソコン・ワープロ基礎講習会
5.11	昭和39年度(1964)		年末年始連合売出し	11.2	街路灯落成祝賀会
8.30	第4回通常総会		歌謡招待	11.22	啓発活動後援会
1.17	中元連合売出し	5.10	昭和49年度(1974)		昭和61年度(1986)
	北島三郎	6.15	第14回通常総会	8.8	高校生との懇談会
	年末年始連合売出し	1.18	商業モニター会議	9.13	商工貯蓄委員会
	大木信夫		事業主経済懇談会	9.17	八溝山頂模識建立
4.25	昭和40年度(1965)		昭和50年度(1975)	1.14	記帳機械化研修会
	花まつり全国アマチュア		昭和51年度(1976)		昭和62年度(1987)
	自転車競技会	5.7	商店街交通料調査	10.21	金融公庫特別相談日
5.20	第5回通常総会		商店街診断	12.15	地域問題懇談会
8.30	中元連合売出し	5.22	年末連合売出し	3.25	金融懇談会
	都はるみ	10.13	山口百恵		昭和63年度(1988)
11.13	産業文化祭協賛		昭和52年度(1977)	4.19	ライオン堂出店説明会
3.21	年末連合売出し	6.19~21	就職予定者工場見学会	5.26	中型店出店調整小売業者会議
	西郷輝彦	8.5~7	工業クラブ事例研究会	10.18	冷害対策資金打合せ会
		3.21	商店街事後指導会	3.24	ルネサンス棚倉施設説明会
5.12	昭和41年度(1966)		昭和53年度(1978)		平成元年度(1989)
6.21	第6回通常総会		中高生地元工場見学会	8.22	消費税講演会
8.18	棚倉町商工会婦人部結成	7.21	商工会福島県大会(棚倉町体育館)	9.22	棚倉町商店会連合会設立総会
10.16	中元連合売出し	9.20	年末連合売出し	2.20	商業振興後継者会議
2.19	商工会運動会(城跡)	11.29	ピンクレディー		平成2年度(1990)
	年末連合売出し		昭和54年度(1979)	4.20	ルネサンス棚倉オープン
	島 和彦		建設業代表者会議	5.22	第30回通常総代会
2.24	労災保険事務組合	9.4	八溝山頂模識建立	5.28	金融団との懇談会
	設立認可申請	10.30	地域問題に関する懇談会	7.8	第85回珠算検定
			昭和55年度(1980)	11.15	設立30周年記念式典
5.27	昭和42年(1967)	2.4	消費者懇談会	12.7	商工振興会懇談会
7.16	第7回通常総会		ジャスコ出店説明会	1.26	町長を囲む新春懇談会
10.28	自転車ロードレース	7.4	棚倉町商業活動調整協議会設立	2.20	パソコン研修会
	金融懇談会	10.25	ヨークベニマル出店説明会		
3.3	年末連合売出し	11.28			
	井沢扇				
5.16	昭和43年度(1968)	4.11			
9.13	第8回通常総会	5.10			
10.9	臨時総会(商工会館建設)	5.30			
	秋まつり・中元売出し				
	ミス発表会				
4.25	昭和44年度(1969)	7.21			
	事務所を旧森林組合跡に移転				

3.18	ライフ、プランナー養成 研修会		平成10年度(1998)	5.21	第44回通常総代会	
		4.19	ミス桜の女王発表会	5.28	第5回商工振興会総会	
		6.12	新旧役員懇談会	6.28	東白川地区広域連携協議会 設立総会	
	平成3年度(1991)	10.1	小規模振興委員会		集いの小径整備起工式	
5.22	第19回棚倉町新規就職者 を励ます会	11.17	金融懇談会	10.18	1.4	棚倉町新春懇談会
6.27	労働時間研究会	12.18	協同組合設立発起人会			
7.5	地元高校との懇談会	3.24	協同組合創立総会			
10.16	警察署との懇談会		平成11年度(1999)	4.12	商店会連合会	
11.26	大店法の改正説明会	4.8	花まつりボンボリ点灯式	7.13	第35回東白川地方経営者 懇話会総会	
12.11	商業調整協議会	6.24	まつり検討委員会	8.30	商工会館空調設備設置工事	
1.13	新春懇談会	7.16	金融特別相談日	12.13	お金をかけない商店活性 化作戦講演会	
3.9	商店診断街おこし事業	8.14	棚倉大好き夏まつり	2.14	体験型ツーリズム推進調 査研究報告会	
		9.21	企業との懇談会	2.23	講演会「経営者のための 元気が出るお話」	
	平成4年度(1992)	10.14	C I 事業実行委員会			
4.23	第20回地元就職者を励ます会	1.27	新春懇談会			
6.11	白色申告者記帳説明会		平成12年度(2000)		平成18年度(2006)	
7.2	中小小売商業活性化推進 協議会	4.16	棚倉六万石亀ヶ城まつり	4.26	第40回女性部部員総会	
8.14	夏まつり歩行者天国	5.23	第40回通常総代会	6.16	うつくしまYOSAKOI まつりin県南	
9.17	浅川町商工会役員との交歓会	6.9	インターネット活用情報 交流事業委員会	6.19	第35回棚倉地方労務改善 協議会総会	
10.12	東北電力地域懇談会	7.8	第3回プレミアム付商品券 販売	10.29	城下町棚倉わくわくフェスタ	
12.1	郡内大型店研修会	7.18	金融相談日	11.16	金融懇談会	
1.18	ライオンドー出店説明会	8.23	コンセンサス形成事業専 門委員会	3.21	まちなみ形成支援講演会	
		9.22	企業懇談会		平成19年度(2007)	
	平成5年度(1993)	10.14	棚倉町商工会創立40周年 記念式典	6.11	チャレンジショップ講演会	
4.29	第40回クリテリウム棚倉大会	12.12	J・インターシップ棚高生 体験学習	10.25	地域貢献アピールプラン 策定委員会	
7.16	大型店意見集約会議	1.20	役職員研修旅行「台湾」	11.14	知的財産権セミナー	
8.14	第45回棚倉夏まつり	2.2	元気の出る話「地域活性 化する気が一番」	11.18	まち工房まつり	
10.25	広域経営事業専門委員会	2.27	商店診断「経営技術強化」	1.25	経済講演会「地域格差是 正に対する取り組み方」	
11.11	小規模振興委員会	4.14	平成13年度(2001)	2.26	経済講演会「地方におけ る今後の経済状況」	
12.16	小規模ビジョン策定委員会	5.22	十万石棚倉城まつり		平成20年度(2008)	
3.29	商工会館記念碑除幕式	8.14	第41回通常総代会	4.21	第38回東白川経営者懇話 会総会(解散)	
		12.2	第53回棚倉夏まつり	4.23	第37回棚倉地方労務改善 協議会総会(総会)	
	平成6年度(1994)	2.8	カード事業組合4周年記念 イベント	10.25	第1回町民ゴルフ大会	
4.29	第5回クリテリウム棚倉大会	3.22	労務改善協議会30周年記 念講演会	12.15	役職員研修旅行「ベトナム」 企業見学会	
7.25	経営者懇話会講演会		コンセンサス形成事業報告会	2.19	経済講演会「我慢と実行」	
9.14	浅川町商工会との懇談会	4.18	平成14年度(2002)		平成21年度(2009)	
11.1	一日金融公庫	5.22	第40回青年部部員総会		十万石棚倉城まつり	
1.18	新春懇談会	8.7	第42回通常総代会	4.17~18	棚倉町建設経済常任委員 会との懇談会	
3.15	大型店出店通産局との 打合せ	2.18	社川・近津子供花火大会	8.6	第61回棚倉夏まつり	
		3.7	まちづくり会社設立研究会	9.7	「街なか再生プロジェク トチーム」意見交換会	
	平成7年度(1995)	3.17	棚倉町TMO構想策定事 業成果報告会	11.17	個店経営研修事業全体研修会	
5.21	第35回通常総代会		コミュニティビジネス現 地研究会	2.6	里山産業体験モニターツ アーin東白川	
6.11	第100回珠算検定	4.18	平成15年度(2003)	2.22	美容・サービス業講習会	
7.11	顧問相談役懇談会	5.22	第40回青年部部員総会	3.4	商工会ホームページ作成 委員会	
11.3	町文化センター落成式	8.7	第42回通常総代会			
12.13	流通問題研究会視察	2.18	社川・近津子供花火大会			
3.11	小規模振興委員会	3.7	まちづくり会社設立研究会			
	平成8年度(1996)	3.17	棚倉町TMO構想策定事 業成果報告会			
4.21	クリテリウム棚倉大会		コミュニティビジネス現 地研究会			
6.4	町企画商工課地域振興課会議	4.18	平成14年度(2002)			
7.24	小規模振興委員会	5.22	第40回青年部部員総会			
8.14	夏まつり歩行者天国	8.7	第42回通常総代会			
10.27	北緯37度フェスティバル	2.18	社川・近津子供花火大会			
11.22	金融懇談会	3.7	まちづくり会社設立研究会			
1.30	結婚アドバイザー会議	3.17	棚倉町TMO構想策定事 業成果報告会			
	平成9年度(1997)	3.17	コミュニティビジネス現 地研究会			
4.29	クリテリウム棚倉大会	4.18	平成15年度(2003)			
6.13	中小商業活性化連絡協議会	5.22	第40回青年部部員総会			
9.22	カード化事業委員会	8.7	第42回通常総代会			
10.26	北緯37度inフェスティバル	2.18	社川・近津子供花火大会			
11.30	ポイントカードオープニ ング大会	3.7	まちづくり会社設立研究会			
1.23	新春懇談会	3.17	棚倉町TMO構想策定事 業成果報告会			
		4.10	コミュニティビジネス現 地研究会			
			平成16年度(2004)			
			街なか「わいわいがやが や」交流事業			







# 在職職員一覽表

職名	昭和35年度 1960	昭和40年度 1965	昭和45年度 1970	昭和50年度 1975	昭和55年度 1980	昭和60年度 1985	昭和62年度 1987	昭和63年度 1988	平成元年度 1989	平成2年度 1990
事務局長	大峰 巖			武地 弘司	蛭田 守	蛭田 守	蛭田 守 (62.3.31退職) 山内 彦一 (62.8.1町役場より)	山内 彦一	山内 彦一	山内 彦一 (H2.3.31町復帰) 佐藤 周平 (H2.4.1採用)
経営指導員	大峰 巖	大峰 巖	小野里 保男	小野里 保男 中島 修三	武地 弘司 小針 敏憲	梅沢 元善 小針 敏憲	白石 光一 小針 敏憲	白石 光一	白石 光一	白石 光一
補助員		田部井 俊子	田部井 俊子	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ
記帳専任職員			甲賀 謙寿	向鈴 須 井木 藤和 正代子	須藤 和子	向井 正子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子
記帳指導職員					向井 正子 寺島 洋子					
記帳指導員			小林 正四							
一般職員	佐藤 愛子	星野 美雄 鳥居塚 征子	星野 美雄 中川 西恵子				須藤 和子	市川 浩昭 (62.8.1採用)	市川 浩昭	市川 浩昭

職名	平成3年度 1991	平成4年度 1992	平成5年度 1993	平成6年度 1994	平成7年度 1995	平成8年度 1996	平成9年度 1997	平成10年度 1998	平成11年度 1999	平成12年度 2000
事務局長	佐藤 周平	佐藤 周平 (H4.8.31退職)	根岸 健二 (H5.4.1採用)	根岸 健二	根岸 健二	根岸 健二	根岸 健二	根岸 健二	根岸 健二 (H11.3.31退職) 山口 昂太郎 (H11.4.1採用)	山口 昂太郎
経営指導員	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一	遠藤 靖男 白石 光一 (H10.4.1より)	遠藤 靖男 芳賀 宏美	遠藤 靖男 芳賀 宏美
補助員	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	松本 シヅエ	角田 利江 (H11.7.1より)	角田 利江
記帳専任職員	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子	須藤 和子 鈴木 洋子
一般職員	市川 浩昭	市川 浩昭	市川 浩昭	市川 浩昭	市川 浩昭 青柳 孝 (H7.6.30退職) 青柳 孝 (H7.11.1採用)	青柳 孝	青柳 孝	青柳 孝	青柳 孝	青柳 孝

職名	平成13年度 2001	平成14年度 2002	平成15年度 2003	平成16年度 2004	平成17年度 2005	平成18年度 2006	平成19年度 2007	平成20年度 2008	平成21年度 2009	平成22年度 2010
事務局長	山口 昂太郎	山口 昂太郎	山口 昂太郎	根本 秀男 (H16.4.1採用)	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男	根本 秀男 (H21.6.30退職) 藤田 和宣 (H21.7.11採用)	藤田 和宣
経営指導員	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏	向井 正美 芳賀 宏 (H19.4.1より)	蛭田 博栄 片野 博之 (H20.4.1より)	蛭田 博栄 片野 博之 (H22.4.1より)
補助員	角田 利江 須藤 和子 (H14.1.1より)	須藤 和子	須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子	松本 シヅエ 須藤 和子
記帳専任職員	須藤 和子 (H13.12.31まで) 鈴木 洋子 青柳 孝 (H14.1.1より)	鈴木 洋子 青柳 孝 (H16.6.30退職) 松本 シヅエ (H14.7.1より)	松本 シヅエ							
一般職員	青柳 孝 (H13.12.31まで) 宮澤 由美 (H14.1.1採用)	宮澤 由美	宮澤 由美	宮澤 由美	宮澤 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美	皆川 由美







## 棚倉町商工会

〒963-6123 福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝2-3  
TEL 0247-33-3161(代) FAX 0247-33-3162  
E-mail [tanasho@coral.ocn.ne.jp](mailto:tanasho@coral.ocn.ne.jp)